

2020年度 第2四半期 決算説明会

2020年11月9日

ブラザー工業株式会社

財務担当執行役員 伊藤 敏宏

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確実要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2020年度 第2四半期（7月-9月）実績

✓ 主にP&S事業、P&H事業が好調に推移し、大幅増益

- ・ 通信・プリンティング機器は、各国の経済活動再開による需要の緩やかな回復、在宅勤務向け製品への需要の継続に加え、一部チャンネルでの消耗品買い増しなどの一時要因もあり、大幅増益
- ・ P&H事業は、家庭用ミシンでの手作り需要が喚起され、普及機を中心に販売増加し、大幅な増収増益
- ・ ガーメントプリンターは需要拡大も、工業用ミシンの需要は低迷が継続
- ・ 産業機器は、IT向けはスポット案件効果、自動車・一般向けの需要は中国が回復基調
- ・ N&C事業は、カラオケ店舗の時間短縮営業、業務用カラオケ機器の需要の落ち込みなどにより赤字が続く
- ・ ドミノ事業は、需要の緩やかな回復に伴い、C&M機器製品本体、DPの消耗品が堅調に推移

2020年度 通期業績予想

✓ 年間を通じた販管費の減少、主に第2四半期における想定を上回る業績の好調さ、下期の前提見直しにより、通期連結業績予想を上方修正

- ・ P&S事業は、主に第2四半期における想定を上回る業績の好調さ、下期における在宅勤務向け需要の継続によるSOHO製品本体の堅調な推移、および消耗品需要の緩やかな回復を見込み、上方修正
- ・ P&H事業は、家庭用ミシンのコロナ特需による普及機を中心とした販売の好調が継続し、上方修正

2020年度第2四半期 連結業績概要



主にP&S事業、P&H事業が好調に推移し、大幅増益となる

単位：億円

	19Q2	20Q2	増減	増減率 ()は為替影響 除く増減率
売上収益	1,593	1,569	-24	-1.5% (-0.8%)
事業セグメント利益	185	234	48	26.1%
事業セグメント利益率	11.6%	14.9%		
その他の収益・費用	-1	-1	0	
営業利益	184	233	48	26.1%
営業利益率	11.6%	14.8%		
税引前利益	183	232	48	26.4%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	144	181	37	25.5%
USD	107.70	105.88		
EUR	119.83	123.71		

2020年度第2四半期 事業セグメント別実績



単位：億円

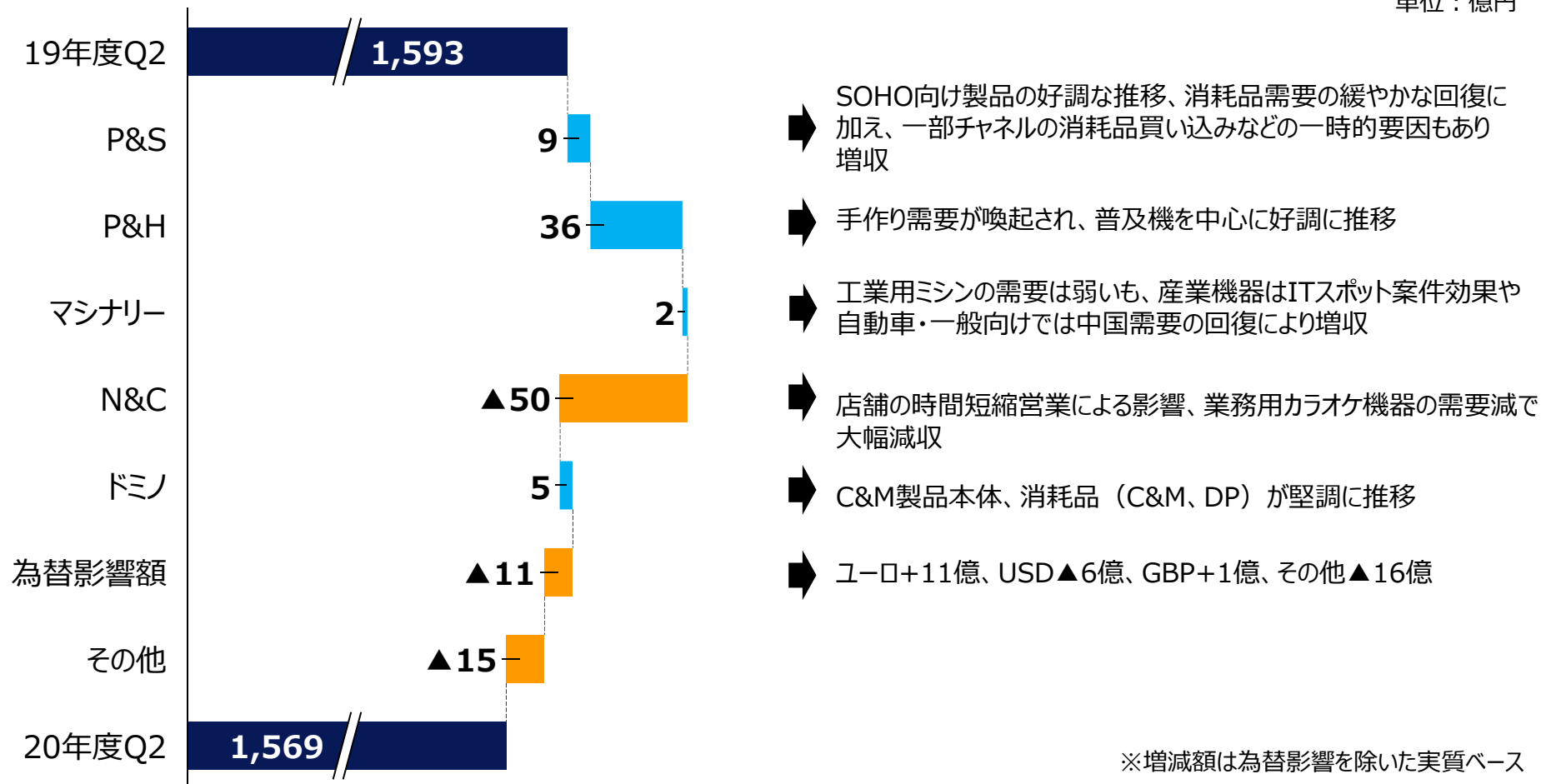
		19Q2	20Q2	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	951	950	0
	事業セグメント利益	148	189	41
	営業利益	145	186	42
パーソナル&ホーム	売上収益	110	144	34
	事業セグメント利益	8	27	19
	営業利益	8	26	18
マシナリー	売上収益	188	189	1
	事業セグメント利益	3	8	5
	営業利益	3	9	6
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	139	88	-50
	事業セグメント利益	17	-4	-21
	営業利益	17	0	-16
ドミノ	売上収益	167	173	6
	事業セグメント利益	8	16	8
	営業利益	9	12	3
その他	売上収益	39	24	-15
	事業セグメント利益	1	-2	-3
	営業利益	3	-1	-4
合計	売上収益	1,593	1,569	-24
	事業セグメント利益	185	234	48
	営業利益	184	233	48

※セグメント間取引消去額は含めておりません。

2020年度第2四半期 売上収益の増減要因

N&C事業の大幅減収を、P&H事業、P&S事業が補うも、全体として減収となる

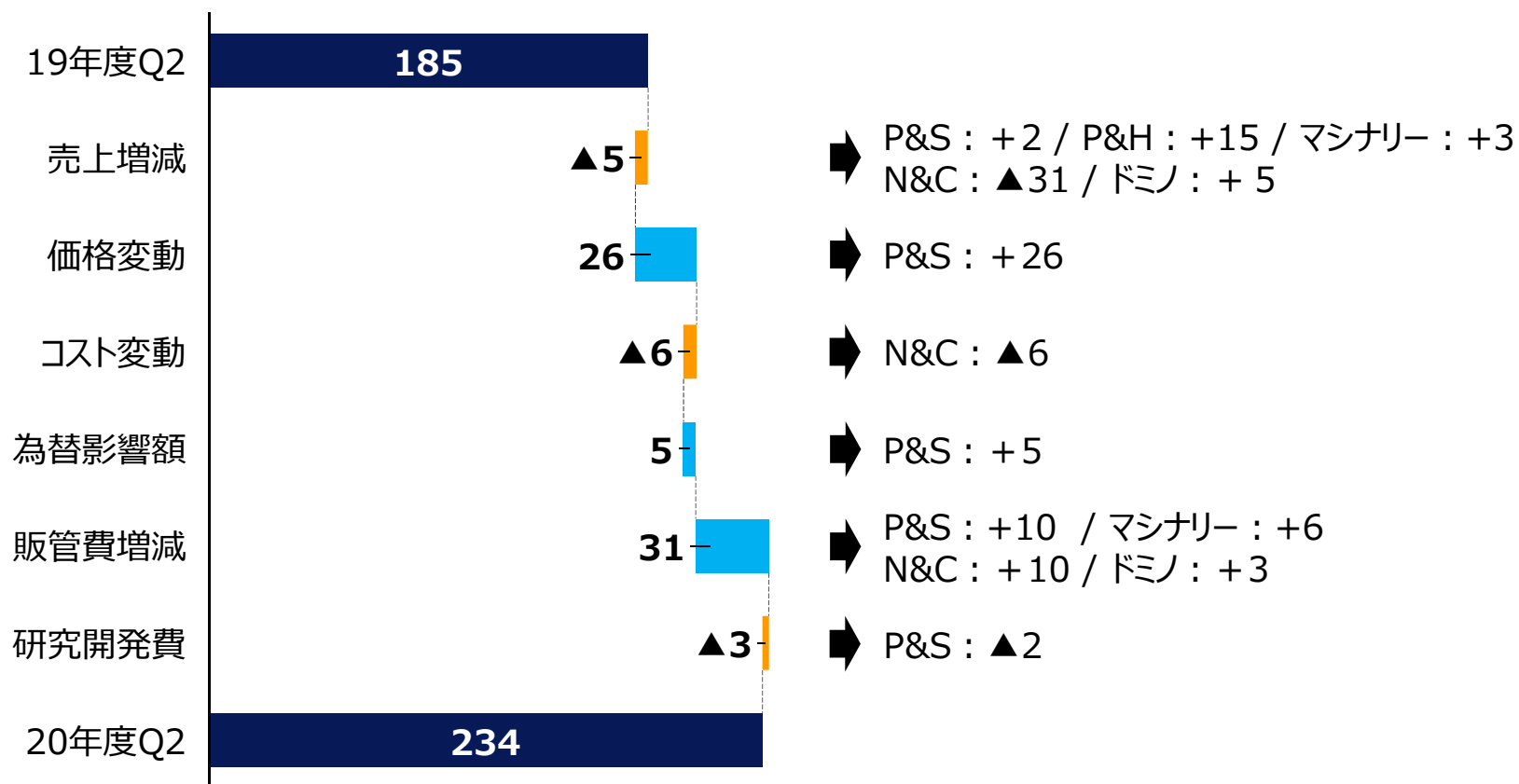
単位：億円



2020年度第2四半期 事業セグメント利益の増減要因

主にP&H事業における売上増、P&S事業でのミックス改善に加え、
販管費の抑制効果も加わり、大幅増益

単位：億円



2020年度上期 連結業績概要



Q2は好調に推移も、Q1の落ち込みを補いきれず、減収減益

単位：億円

	19Q2 累計	20Q2 累計	増減	増減率 ()は為替影響 除く増減率
売上収益	3,185	2,901	-284	-8.9% (-6.9%)
事業セグメント利益	362	320	-42	-11.6%
事業セグメント利益率	11.4%	11.0%		
その他の収益・費用	4	5	2	
営業利益	365	325	-40	-11.0%
営業利益率	11.5%	11.2%		
税引前利益	364	326	-37	-10.2%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	273	247	-26	-9.5%
USD	109.00	106.68		
EUR	121.43	121.36		

2020年度上期 事業セグメント別実績

単位：億円

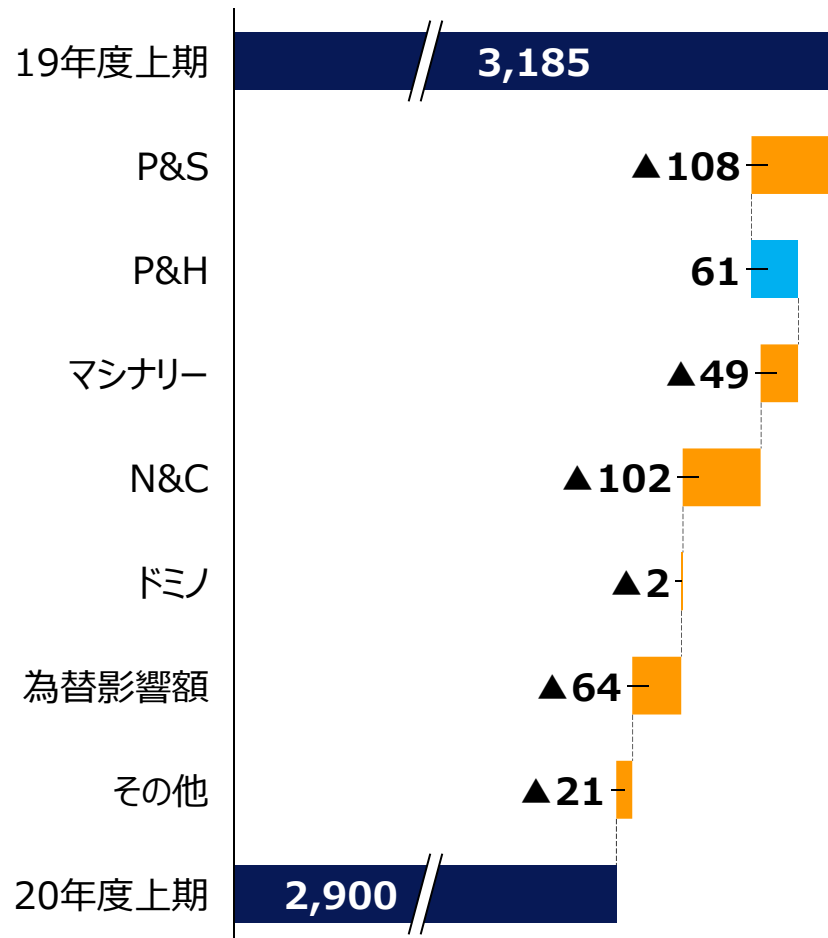
		19Q2累計	20Q2累計	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	1,932	1,779	-153
	事業セグメント利益	312	283	-30
	営業利益	311	287	-24
パーソナル&ホーム	売上収益	199	252	54
	事業セグメント利益	9	41	32
	営業利益	9	40	31
マシナリー	売上収益	393	340	-53
	事業セグメント利益	9	7	-2
	営業利益	9	5	-4
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	252	150	-102
	事業セグメント利益	11	-27	-38
	営業利益	11	-22	-34
ドミノ	売上収益	335	327	-9
	事業セグメント利益	19	20	0
	営業利益	20	14	-5
その他	売上収益	73	52	-21
	事業セグメント利益	3	-2	-6
	営業利益	7	2	-6
合計	売上収益	3,185	2,901	-284
	事業セグメント利益	362	320	-42
	営業利益	365	325	-40

※セグメント間取引消去額は含めておりません。

2020年度上期 売上収益の増減要因

P&Hは好調も、N&C、P&Sの落ち込み、為替のマイナス影響を吸収できず減収

単位：億円



➡ SOHO向け製品は好調に推移、消耗品需要は緩やかに回復基調もオフィスでのプリントボリュームの減少、インク製品・消耗品の供給遅延による影響を補いきれず。

➡ 手作り需要が喚起され、普及機を中心に好調に推移

➡ 産業機器は、Q2ではITスポット案件や安定向けの中国需要回復がみられるものの、Q1での需要の落ち込み、工業用ミシンの需要の弱さを補いきれず。

➡ 店舗の休業や時間短縮営業、業務用のカラオケ機器の需要減により、大幅減収

➡ 各国ロックダウン影響でのQ1での製品本体の需要の減速が影響

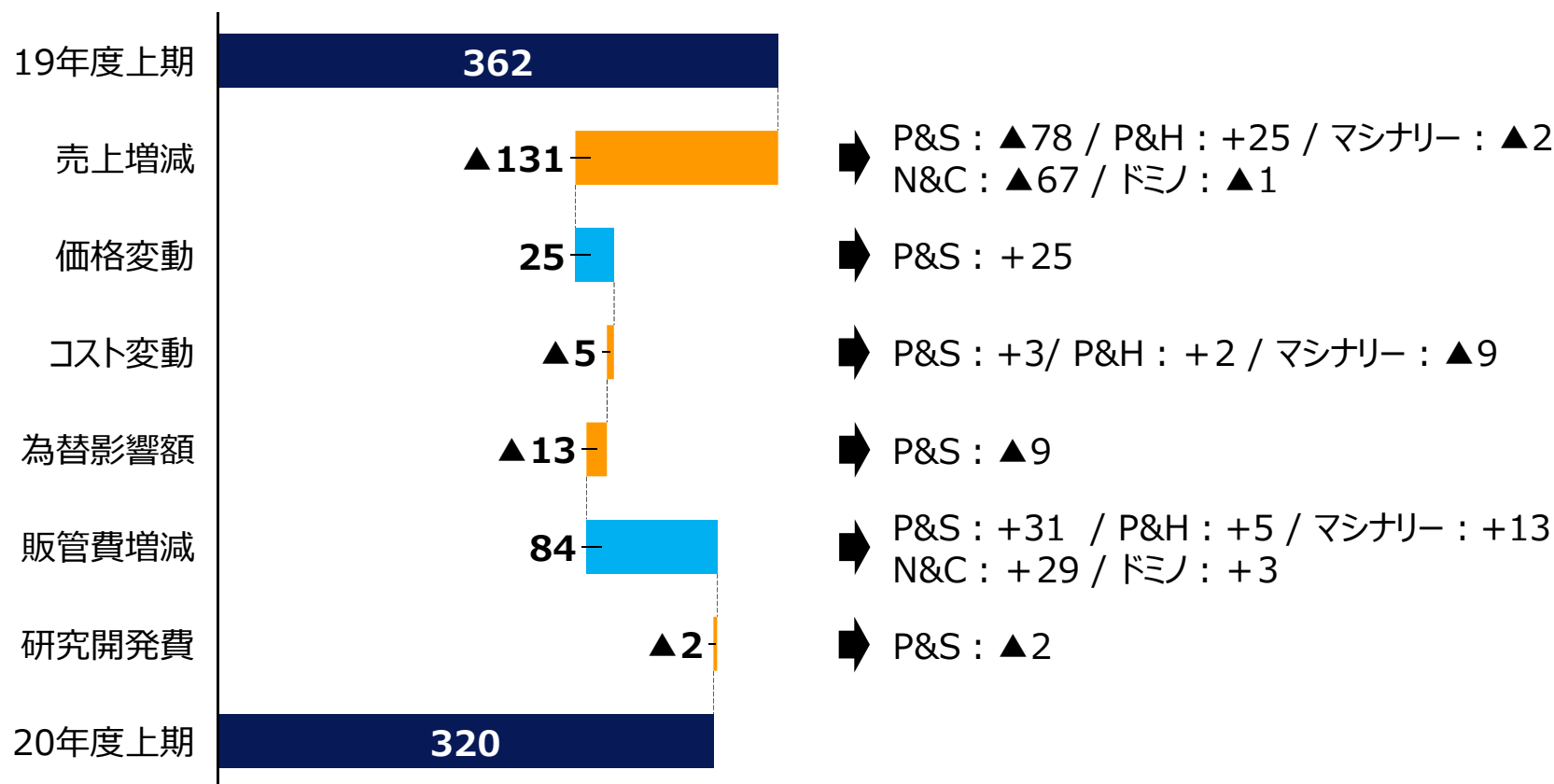
➡ ユーロ▲1億、USD▲14億、GBP▲7億、その他▲44億

※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2020年度上期 事業セグメント利益の増減要因

コロナ影響による営業活動の制限などによる販管費の抑制効果はあるものの、減収による影響を補いきれず、減益となる

単位：億円



2020年度通期 連結業績予想概要



年間を通じた販管費の減少、主に第2四半期の業績の堅調さ、
下期の見通しの改善により、通期連結業績予想を上方修正

単位：億円

	前回予想	20年度 今回予想	増減	増減率	19年度 実績	増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	5,600	6,000	400	7.1%	6,373	-373	-5.8% (-3.9%)
事業セグメント利益	310	550	240	77.4%	669	-119	-17.8%
事業セグメント利益率	5.5%	9.2%			10.5%		
その他の収益・費用	0	-15	-15		4	-19	
営業利益	310	535	225	72.6%	673	-138	-20.5%
営業利益率	5.5%	8.9%			10.6%		
税引前利益	310	530	220	71.0%	670	-140	-20.9%
親会社の所有者に帰属する当期利益	250	400	150	60.0%	496	-96	-19.3%
USD	106.67	106.35			109.10		
EUR	119.76	121.05			121.14		

2020年度通期 事業セグメント別予想



単位：億円

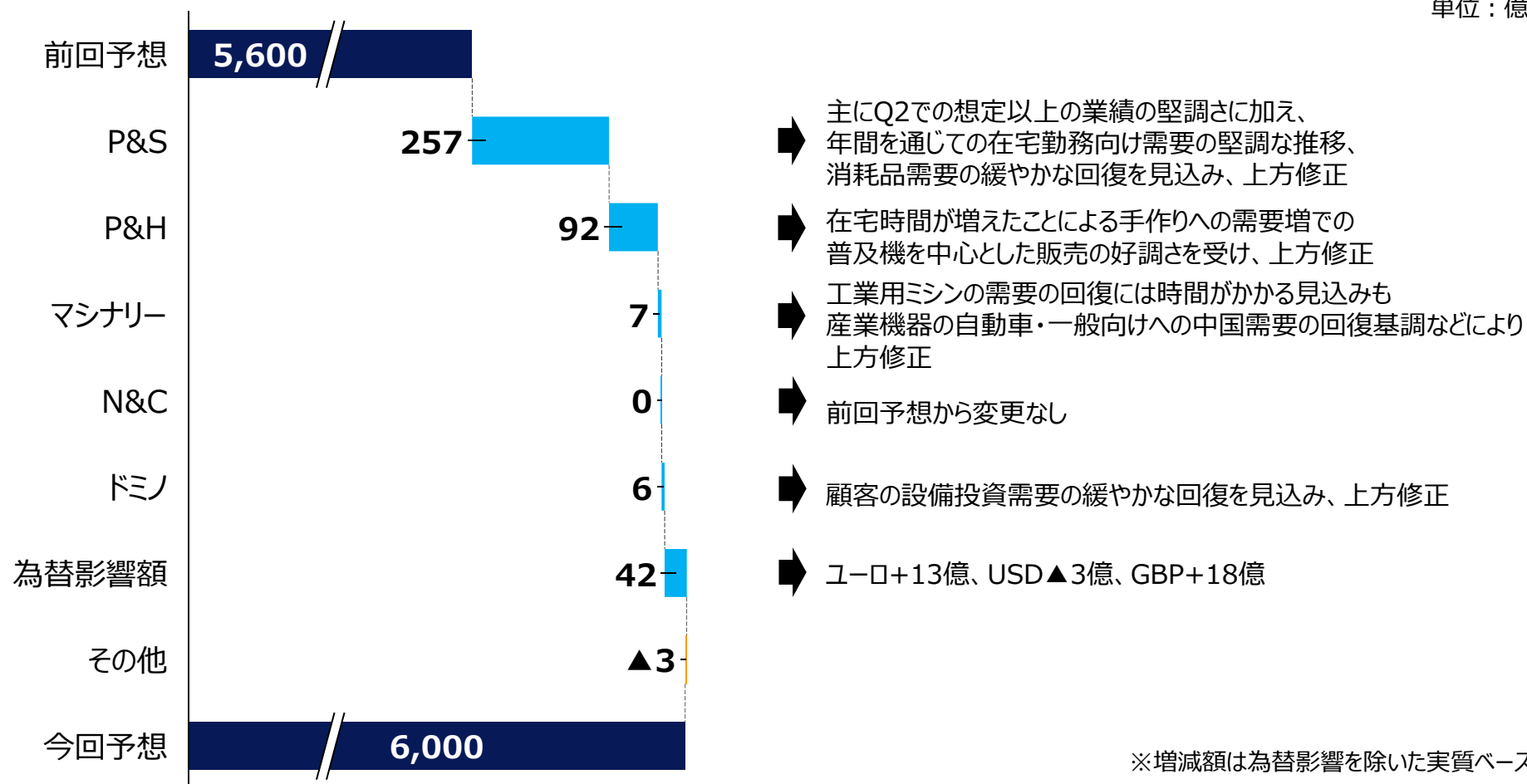
		前回予想	20年度予想	増減	19年度実績	20年度予想	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	3,349	3,628	279	3,907	3,628	-279
	事業セグメント利益	300	500	200	571	500	-71
	営業利益	312	512	200	571	512	-59
パーソナル&ホーム	売上収益	406	500	94	409	500	91
	事業セグメント利益	25	69	44	31	69	38
	営業利益	25	69	44	32	69	37
マシナリー	売上収益	715	722	7	748	722	-26
	事業セグメント利益	1	4	3	7	4	-3
	営業利益	0	-6	-6	6	-6	-12
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	335	335	0	491	335	-156
	事業セグメント利益	-47	-48	-1	21	-48	-69
	営業利益	-45	-45	0	19	-45	-64
ドミノ	売上収益	636	659	23	675	659	-16
	事業セグメント利益	24	37	13	38	37	-1
	営業利益	22	33	11	39	33	-6
その他	売上収益	159	156	-3	142	156	14
	事業セグメント利益	7	-12	-19	4	-12	-16
	営業利益	-4	-28	-24	9	-28	-37
合計	売上収益	5,600	6,000	400	6,373	6,000	-373
	事業セグメント利益	310	550	240	669	550	-119
	営業利益	310	535	225	673	535	-138

※セグメント間取引消去額は含めておりません。

2020年度通期 売上収益予想の修正要因

N&C事業を除いた事業全てで、売上収益を上方修正

単位：億円

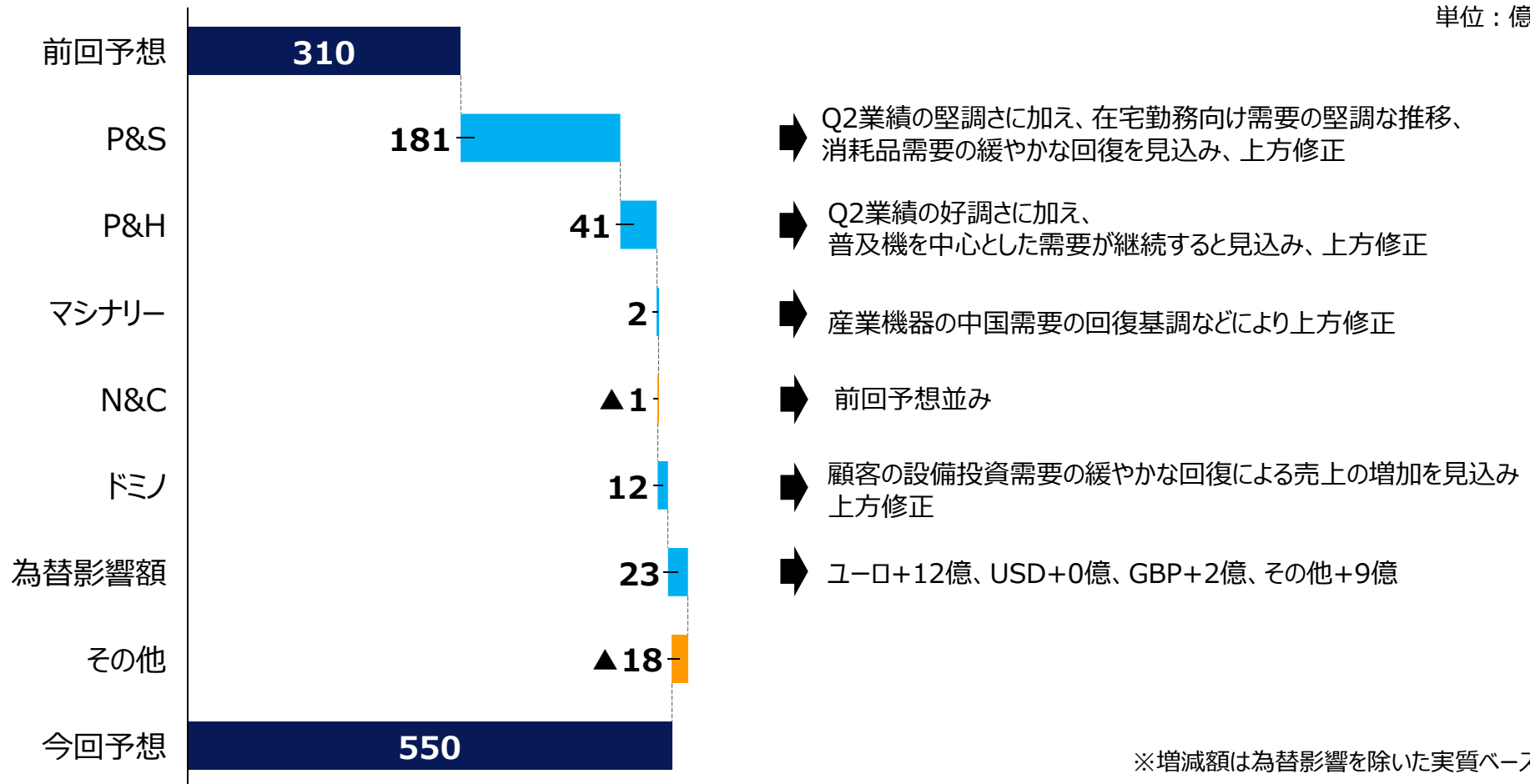


※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2020年度通期 事業セグメント利益予想の修正要因

P&S事業、P&H事業の見通しの引き上げに伴い、利益も上方修正

単位：億円

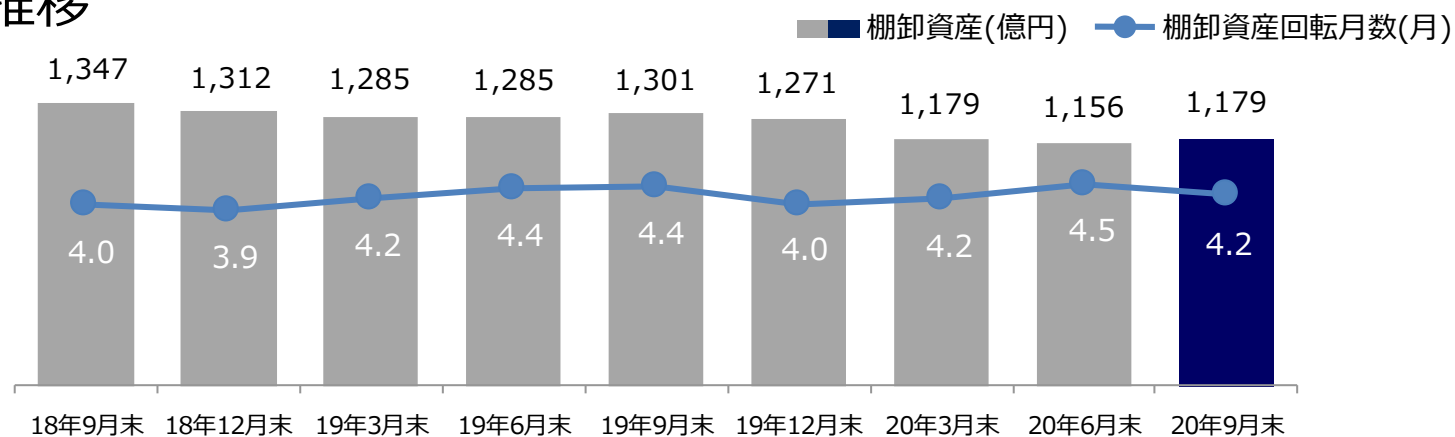


※増減額は為替影響を除いた実質ベース

単位：億円

	19年度末	20年度Q2	増減	
流動資産	4,088	4,414	327	ネット・キャッシュ 19年度末 : +614億円 20年度Q2末 : +900億円
現預金	1,684	2,060	376	
棚卸資産	1,179	1,179	0	
非流動資産	3,227	3,263	36	
負債合計	2,863	2,978	115	株主資本比率 19年度末 : 58.6% 20年度Q2末 : 59.0%
有利子負債	1,070	1,160	90	
株主資本	4,285	4,532	247	
総資産	7,315	7,677	362	

棚卸資産推移

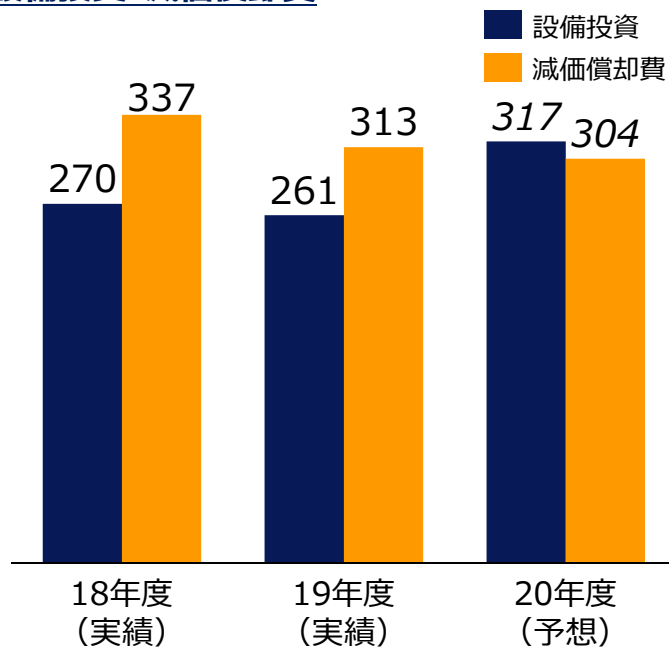


※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

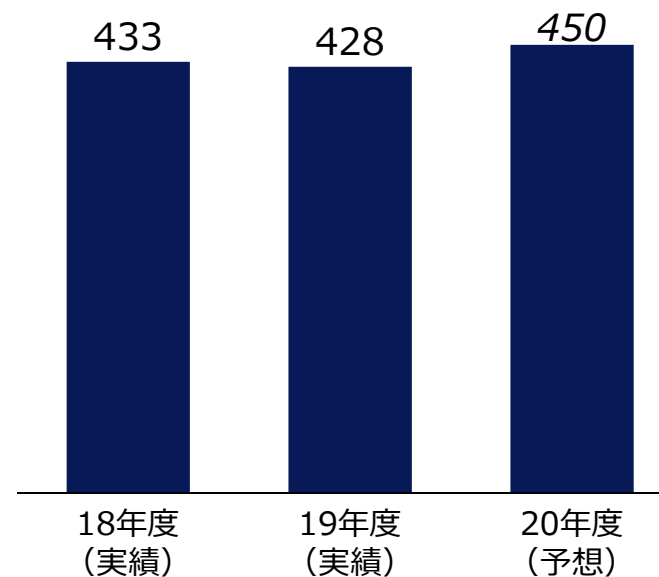
設備投資・減価償却費/研究開発費

単位：億円

設備投資・減価償却費



研究開発費



事業別設備投資内訳

	18年度	19年度	20年度
P&S	95	109	155
P&H	9	5	10
マシナリー	40	24	37
N&C	52	49	21
ドミノ	31	21	22
その他	44	52	72
計	270	261	317

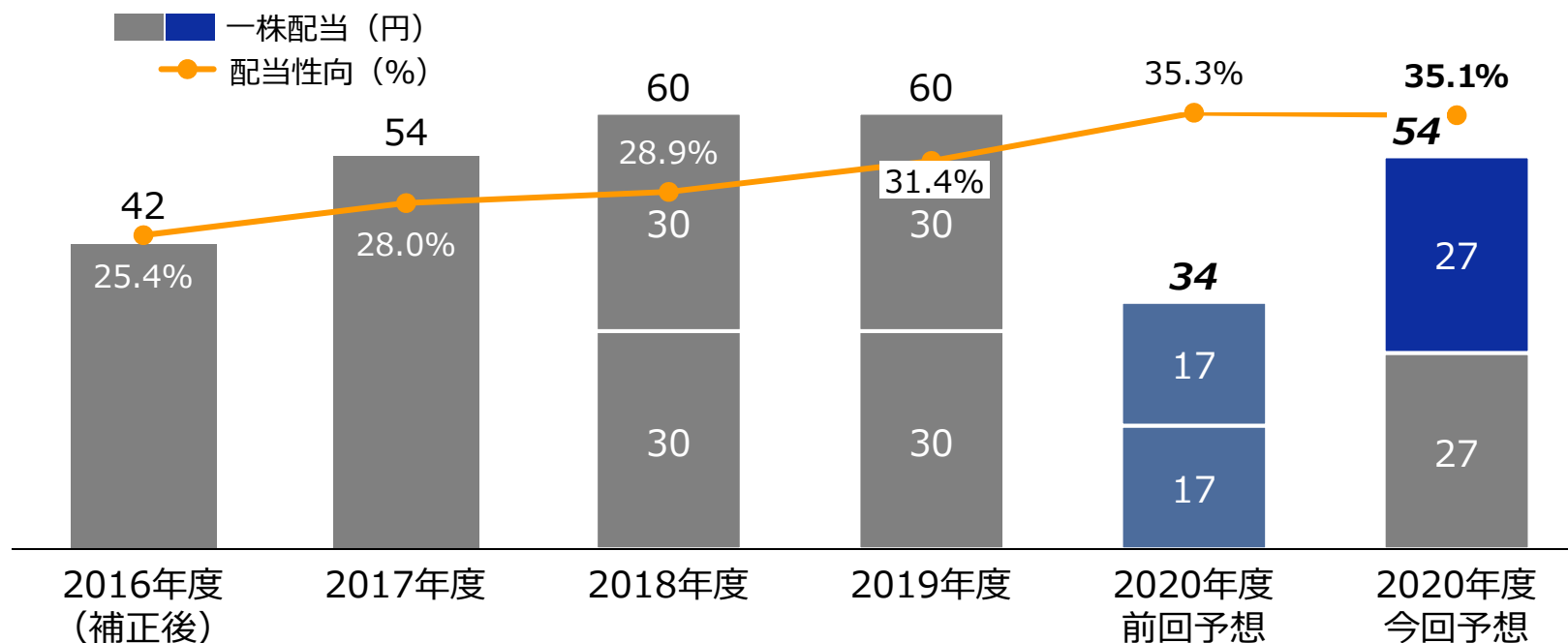
事業別研究開発費内訳

	18年度	19年度	20年度
P&S	290	277	291
P&H	22	22	23
マシナリー	50	54	57
N&C	5	9	10
ドミノ	38	38	40
その他	27	29	29
計	433	428	450

通期連結業績予想の見直しに伴い、配当金予想を引き上げ

- ◆ 第2四半期末の配当金 1株当たり**27**円（前回予想 17円）
- ◆ 期末配当予想 1株当たり**27**円（前回予想 17円）

2021年3月期年間配当金：1株当たり**54**円（前回予想 34円）
 連結配当性向は35%となる見込み



セグメント業績概要

プリンティング&ソリューションズ事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益

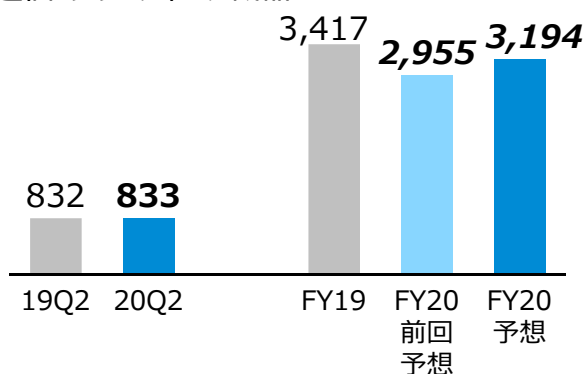


単位：億円

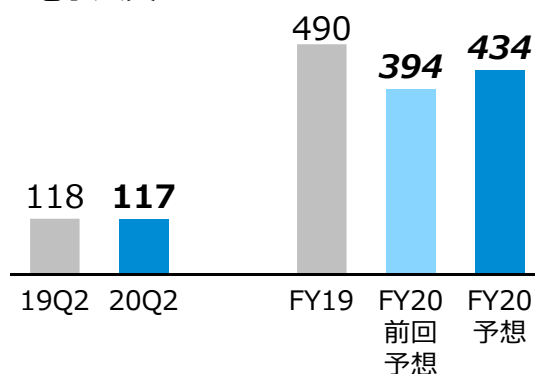
	19Q2	20Q2	増減率	為替影響 除く増減率	FY19	FY20 前回予想	FY20	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	951	950	0.0%	0.9%	3,907	3,349	3,628	-7.1%	-4.8%
通信・プリンティング機器	832	833	0.1%	1.1%	3,417	2,955	3,194	-6.5%	-4.1%
米州	307	298	-3.0%	1.0%	1,256	1,079	1,175	-6.5%	-2.0%
欧州	262	272	4.1%	1.8%	1,133	971	1,041	-8.1%	-7.1%
アジア他	150	163	8.9%	9.9%	591	519	585	-1.1%	1.5%
日本	114	100	-12.1%	-12.1%	437	387	394	-9.9%	-9.9%
電子文具	118	117	-1.2%	-0.3%	490	394	434	-11.4%	-9.3%
米州	56	50	-10.9%	-7.6%	226	169	187	-17.3%	-13.9%
欧州	34	36	6.9%	4.0%	144	118	131	-9.0%	-8.7%
アジア他	19	17	-7.5%	-7.0%	72	63	66	-8.5%	-6.0%
日本	9	13	40.4%	40.4%	47	44	50	5.1%	5.7%
事業セグメント利益	148	189	27.9%	-	571	300	500	-12.4%	-
営業利益	145	186	28.7%	-	571	312	512	-10.3%	-

<売上収益>

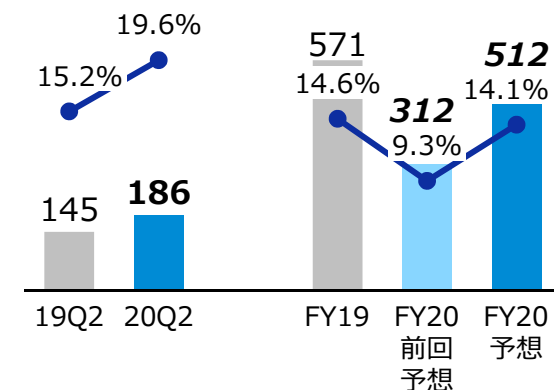
通信・プリンティング機器



電子文具



<営業利益> ● 利益率



プリンティング&ソリューションズ事業 主要製品別売上伸び率・構成比



	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4	19Q1	19Q2	19Q3	19Q4	20Q1	20Q2	20Q3	20Q4	18通期	19通期	20通期 予想
LBP															
売上伸び率（円ベース/前年比）															
本体	1%	-3%	-5%	-17%	-9%	-8%	-7%	-2%	6%	19%	-	-	-6%	-7%	9%
消耗品	1%	1%	-1%	-4%	2%	-6%	-2%	-3%	-18%	1%	-	-	-1%	-2%	-9%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）															
本体	2%	0%	-1%	-12%	-6%	-4%	-3%	2%	11%	22%	-	-	-2%	-3%	13%
消耗品	1%	3%	2%	-1%	4%	-1%	3%	0%	-15%	2%	-	-	1%	1%	-7%
IJP															
売上伸び率（円ベース/前年比）															
本体	-6%	-6%	2%	-6%	-2%	8%	-7%	-3%	-37%	-49%	-	-	-4%	-1%	-28%
消耗品	1%	-1%	-3%	-5%	1%	-2%	-8%	4%	-23%	-1%	-	-	-2%	-2%	-13%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）															
本体	-3%	-2%	6%	-1%	1%	13%	-4%	0%	-33%	-48%	-	-	-1%	2%	-26%
消耗品	1%	1%	0%	-2%	3%	3%	-5%	7%	-20%	-1%	-	-	0%	2%	-12%
消耗品比率															
	58%	58%	57%	61%	60%	58%	57%	59%	55%	57%	-	-	58%	58%	55%
販売台数伸び率（実績のみ/前年比）															
LBP	-1%	-8%	-7%	-16%	-13%	-4%	-2%	3%	12%	10%	-	-	-8%	-5%	-
IJP	-1%	-2%	-1%	-4%	0%	13%	1%	7%	-39%	-57%	-	-	-2%	5%	-

第2四半期実績は、 各国の経済活動の再開や一時要因もあり、想定を上回り堅調に推移

第1四半期 (4-6月) 実績

【Q1実績】 各国のロックダウン、経済活動制限により売上・利益とも落ち込んだ

- ・SOHO向け: 本体販売は堅調（主に在宅勤務の需要増）も、プリントボリュームは減少
- ・SMB向け : 本体販売、消耗品ともに落ち込む（オフィス向け製品需要減、オフィスでのプリントボリュームの減少）
- ・平均プリントボリューム（コロナ前比）: 4月初旬 SOHO70%、SMB60%→7月末時点 SOHO85%、SMB 80%程度
- ・インク製品・消耗品: 供給遅延が発生（工場操業の一時停止）

前回 公表時 (8/4) 見立て

【Q2見立て（前回公表時）】 厳しい状況が継続するとの想定であった

- ・SOHO向け：在宅需要は、Q2以降一巡して落ち着く
- ・インク製品・消耗品：工場稼働はコロナ前の水準までもどるも、インク製品・消耗品の供給不足による販売機会の喪失
- ・平均プリントボリューム：需要はゆるやかに回復も、オフィス向けのプリンタ・複合機のプリントボリュームは減少したまま
- ・経費：営業活動再開による費用の増加により、Q1に比較して、Q2の利益は圧迫される
- ・新興国：中国をのぞく新興国の回復には時間がかかる（脆弱なインフラ、Eコマース基盤の不足、感染の拡大）



第2 四半期

第2 四半期 実績

【Q2実績】 想定を上回り、堅調に推移（※一部に一時要因を含む）

感染防止対策をしながらの各国での経済活動の再開により、本体、消耗品の販売はQ1公表時での想定よりも回復

- ・SOHO向け：在宅需要の好調さがQ2でも継続、新興国でもSOHO向けレーザー製品の需要が回復、インク本体の供給遅延は継続。
- ・SMB向け：経済活動の回復に加え、一部SOHO製品の在庫不足を補完して想定を若干上回る
- ・消耗品：消耗品は想定より堅調に推移し、インク消耗品も、優先生産と空輸継続で供給遅延が回復しつつある。
欧州の一部チャネルの在庫確保のための消耗品買い増し（一時要因）と本体を購入する際に消耗品同時購入の傾向。
- ・平均プリントボリューム（コロナ前比）：9月末時点でSOHO 90%、SMB 85%程度
- ・経費：Q2においても費用は増加しなかった（固定費はQ1並み）

需要の緩やかな回復、在宅需要の継続を見込み、下期の見立てを変更

下期 見通し

【下期】 在宅需要が堅調に継続する見通しへと変更

- ・SOHO向け：主にSOHO向け製品に対する在宅需要は、下期も堅調に続くと見立てを変更
- ・SMB向け：在宅勤務などへの働き方のシフトの影響が続き、第1四半期での落ち込みの挽回は厳しいものの、下期は第2四半期の回復レベルが続く
- ・インク製品：インク消耗品の供給不足はほぼ解消しているが、インク製品本体の供給不足は、年間を通じて影響が続く
- ・平均プリントボリューム：プリントボリュームはコロナ前までにはもどらない（消耗品売上の通期見立ては前年度の9割程度）
- ・新興国：中国は堅調に推移、その他の新興国については、SOHO向けレーザー製品需要の高まりで回復基調にはあるものの、インク本体の供給課題が影響し年間通じて厳しい状況

（※欧州、その他地域における感染の再拡大による影響、工場の稼働停止については見通しに盛り込まず）

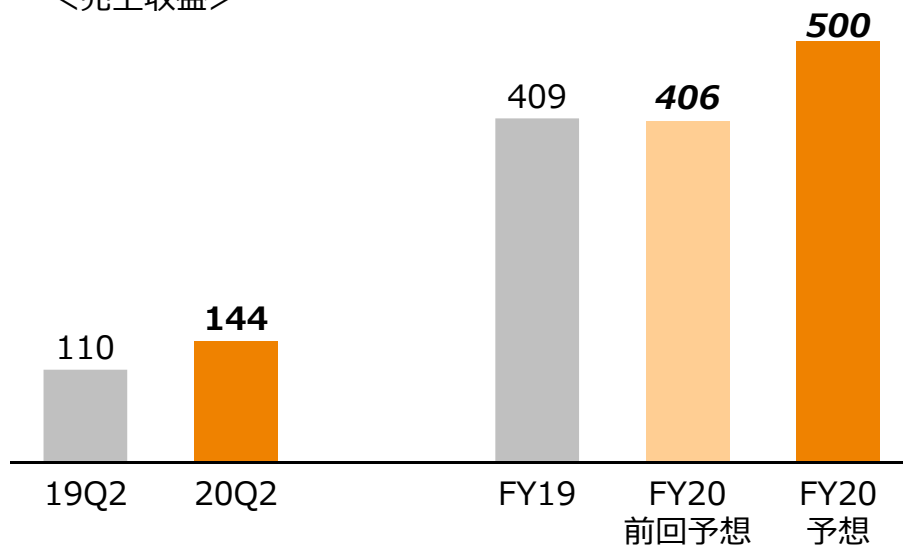
パーソナル&ホーム事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益



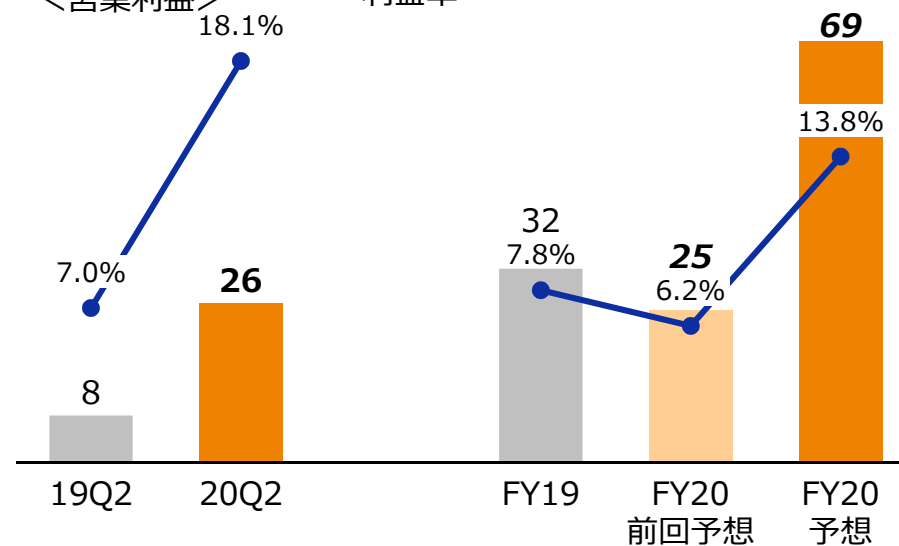
単位：億円

	19Q2	20Q2	増減率	為替影響 除く増減率	FY19	FY20 前回予想	FY20	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	110	144	30.8%	32.7%	409	406	500	22.4%	25.9%
米州	69	74	7.0%	11.9%	223	217	261	16.9%	23.0%
欧州	22	42	90.1%	83.6%	108	110	138	27.7%	27.4%
アジア他	11	14	20.8%	22.5%	46	46	55	18.0%	20.8%
日本	8	14	86.9%	86.9%	32	33	47	48.8%	48.8%
事業セグメント利益	8	27	242.8%	-	31	25	69	120.5%	-
営業利益	8	26	240.3%	-	32	25	69	117.4%	-

<売上収益>



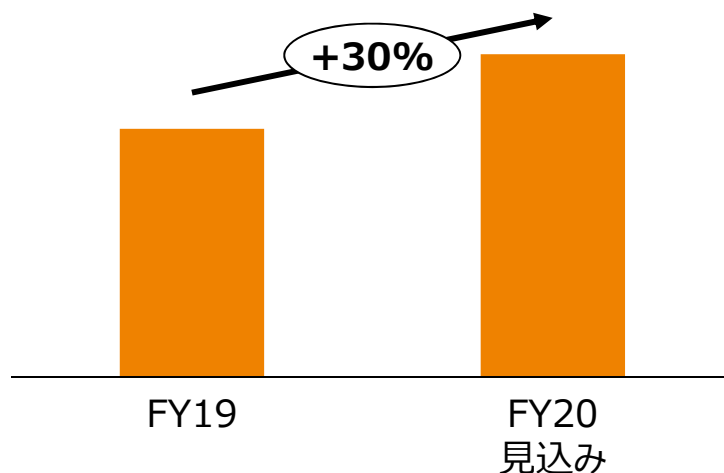
<営業利益> ● 利益率



トピックス：家庭用ミシンの事業環境

“巣ごもり需要”で家庭用ミシンへの注目が高まる
各地でオンラインでの新製品発表会などを実施

家庭用ミシンの販売台数（グローバル）



オンラインイベントの開催



オンラインイベント（USA）



バーチャルショールーム（欧州）

事業環境

欧米	普及価格帯を中心に販売好調。副業目的の需要も拡大。下期も強い需要が持続する見込み
アジア	AP地域は販売好調。下期も強い需要が持続する見込み。中国での需要は一巡。
日本	巣ごもり・マスク制作を受け、強い需要が続く。下期も強い需要が持続する見込み。

マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益



単位：億円

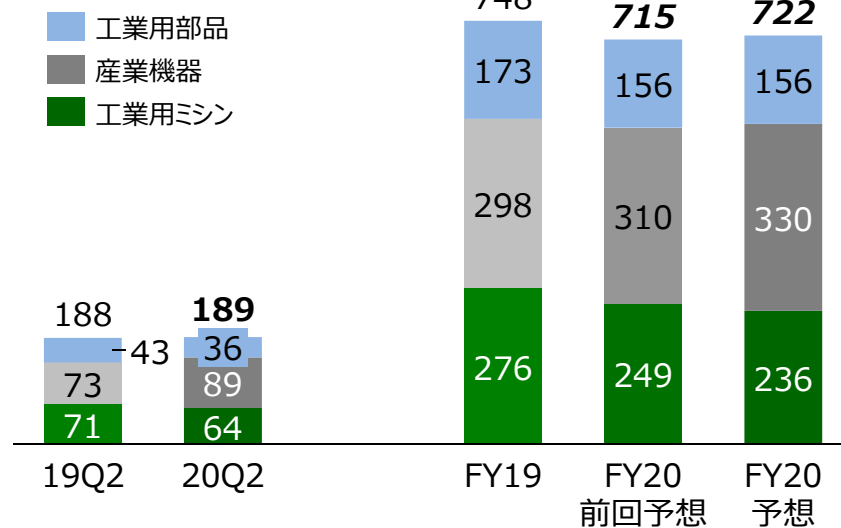
	19Q2	20Q2	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	188	189	0.8%	1.1%
工業用マシン	71	64	-10.4%	-10.0%
産業機器	73	89	22.3%	22.5%
工業用部品	43	36	-17.2%	-16.9%

	FY19	FY20 前回予想	FY20	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	748	715	722	-3.5%	-2.6%
工業用マシン	276	249	236	-14.8%	-13.5%
産業機器	298	310	330	10.8%	11.5%
工業用部品	173	156	156	-10.1%	-9.6%

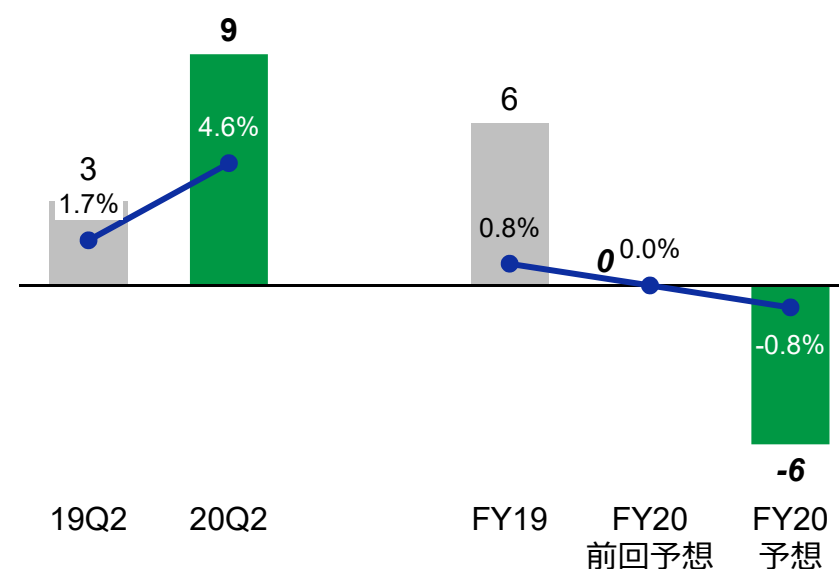
事業セグメント利益	3	8	164.8%	-
営業利益	3	9	173.2%	-

事業セグメント利益	7	1	4	-42.4%	-
営業利益	6	0	-6	-	-

＜売上収益＞



＜営業利益＞ ● 利益率



マシナリー事業 地域別売上収益

brother
at your side

単位：億円

	19Q2	20Q2	増減率	為替影響 除く増減率	FY19	FY20 前回予想	FY20	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	188	189	0.8%	1.1%	748	715	722	-3.5%	-2.6%
工業用マシン	71	64	-10.4%	-10.0%	276	249	236	-14.8%	-13.5%
米州	21	29	40.2%	42.9%	70	77	79	12.0%	14.7%
欧州	15	14	-3.0%	-5.8%	68	57	57	-15.2%	-15.2%
アジア他	33	18	-46.1%	-45.8%	129	106	90	-30.5%	-29.3%
日本	3	3	-0.4%	-0.4%	9	9	10	4.8%	4.8%
産業機器	73	89	22.3%	22.5%	298	310	330	10.8%	11.5%
米州	3	1	-58.2%	-	20	12	16	-23.3%	-
欧州	6	3	-47.9%	-	21	14	18	-16.9%	-
アジア他	38	73	93.8%	-	168	223	243	45.1%	-
日本	27	12	-54.3%	-	89	61	54	-39.4%	-
工業用部品	43	36	-17.2%	-16.9%	173	156	156	-10.1%	-9.6%
米州	6	5	-15.4%	-13.9%	23	18	19	-19.5%	-17.5%
欧州	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アジア他	4	4	-3.7%	-2.8%	18	19	18	-1.4%	0.8%
日本	33	27	-19.2%	-19.2%	132	120	119	-9.6%	-9.6%

トピックス：新ショールームオープン（産業機器）

brother
at your side

従来のショールーム機能に加え、加工や自動化などの技術提案機能を備えた
新ショールーム「Brother Technology Center」がオープン



エントランス



機械展示エリア



セミナールーム

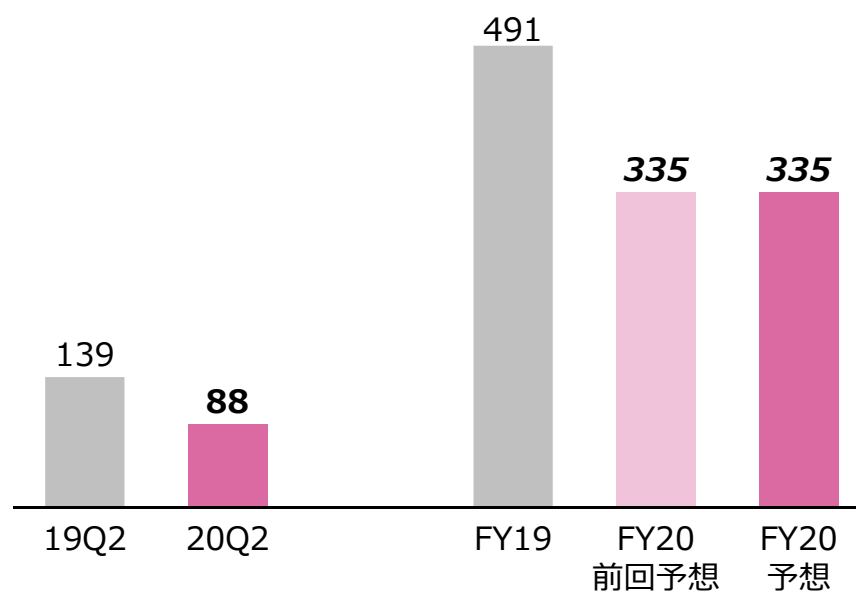
ネットワーク&コンテンツ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益



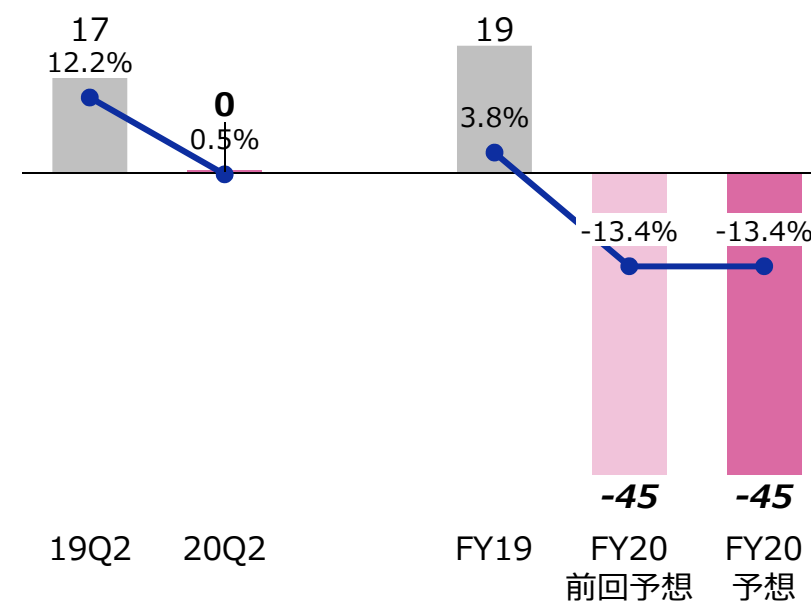
単位：億円

	19Q2	20Q2	増減率	FY19	FY20 前回予想	FY20	対前年 増減率
売上収益	139	88	-36.3%	491	335	335	-31.8%
事業セグメント利益	17	-4	-	21	-47	-48	-
営業利益	17	0	-	19	-45	-45	-

<売上収益>



<営業利益> ● 利益率



ネットワーク&コンテンツ事業 実績・通期見通し

brother
at your side

単位：億円

第1四半期実績（4-6月）

第2四半期実績（7-9月）

業務用カラオケ

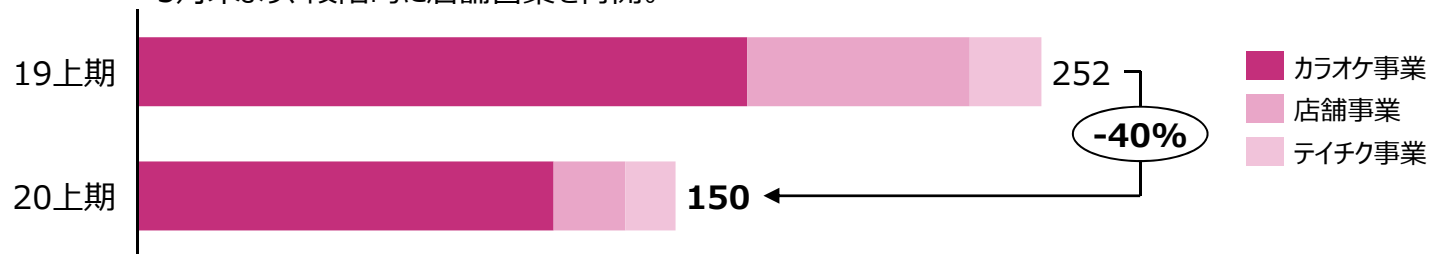
営業自粛に伴う減免措置による売上減、カラオケ需要低迷による機器販売減などにより、前年同期比 約4割の減収

カラオケ需要低迷による機器販売減などにより、前年同期比 約3割弱の減収

直営店舗

緊急事態宣言による休業要請に応じ、4月、5月の直営店舗をほぼ完全休業したことにより前年同期比 約8割の大幅減収。5月末より、段階的に店舗営業を再開。

感染予防を徹底した店舗運営も、自治体の要請等での利用の制限、営業時間の短縮などもあり、前年同期比 5割強の減収



通期見通し

業務用カラオケ 前年比3割 減収見込み

稼働台数、固定売上（情報提供料・レンタル料）ともに営業自粛にともなう減免措置は6月末で解除期末までに、対前期比 9割程度までの回復を想定
収益悪化に伴い、大規模なコストダウンを実行する

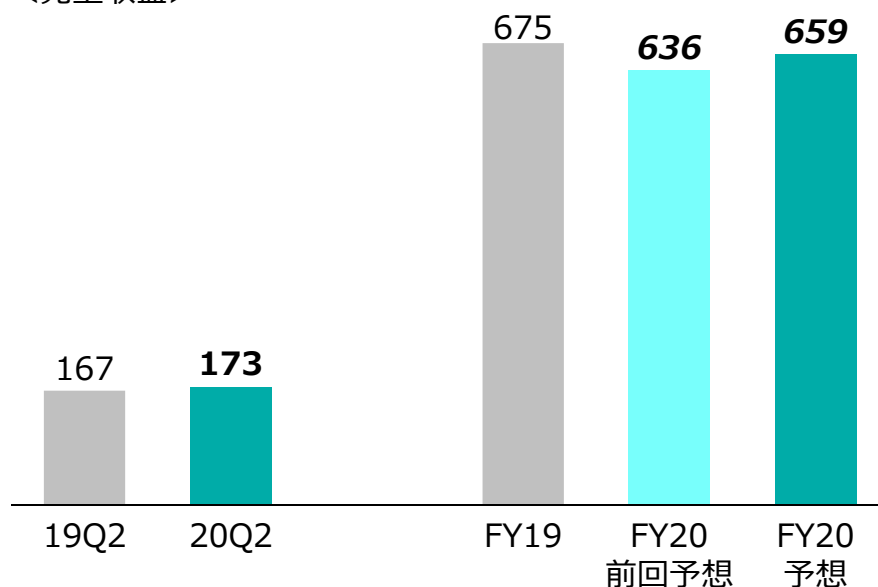
直営店舗 前年比約4割 減収見込み

市場は緩やかに回復し、段階的に、対前期比 8割程度までの回復を想定
店舗営業継続の基準を設け、不採算店舗については基準に照らして閉店を実施

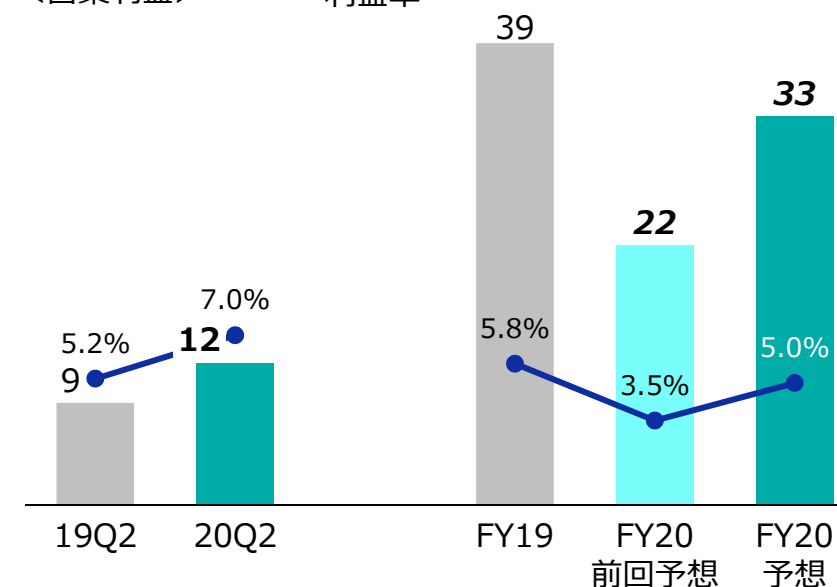
単位：億円

	19Q2	20Q2	増減率	為替影響 除く増減率	FY19	FY20 前回予想	FY20	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	167	173	3.7%	3.2%	675	636	659	-2.4%	1.1%
米州	42	45	5.3%	8.2%	165	159	166	1.1%	6.5%
欧州	77	77	0.5%	-2.2%	329	299	305	-7.4%	-5.8%
アジア他	47	51	7.3%	8.1%	182	179	188	3.1%	6.1%
事業セグメント利益	8	16	95.2%	-	38	24	37	-2.3%	-
営業利益	9	12	39.5%	-	39	22	33	-15.8%	-

<売上収益>



<営業利益> ● 利益率



ブラザー製プリントヘッドを搭載したデジタルラベル印刷機を発売
ブラザーとドミノの協業により、産業用印刷領域の更なる発展を目指す

デジタルラベル印刷機「N730i」



- ✓ ブラザー製の1200dpiインクジェットプリントヘッドを搭載
- ✓ オプション品利用で前後処理の効率化が可能

DP（デジタル印刷）事業の発展



ブラザー製プリントヘッド

DP事業

ラベル

段ボール



「N730i」



「X630i」

brother
at your side